

小田地区 防災まちづくり懇談会ニュース

令和元年6月発行

第1回「防災まちづくり懇談会」を開催しました！

第1回「防災まちづくり懇談会」概要

日時：令和元年 5月23日（木）19:00～20:30

場所：田島中学校 特別活動室

- 内容：① 防災まちづくり懇談会について
② 小田地区の現況について
③ 意見交換（小田地区の現状で感じること等）

参加者：小田地区町内会連合会・小田1丁目町会より24名



会場の様子

① 防災まちづくり懇談会について

小田地区は、市内でも建物の密集度が高いエリアになります。川崎市では、喫緊の課題である密集市街地の改善に向けて、行政と町内会などが連携しながら、地域住民との協働によるまちづくりを推進します。また、地域防災力の向上、「安全・安心な誰もが暮らしやすいまち」の実現をめざし、地域住民の方とまちの現状と課題について共有し、意見交換を行う場として懇談会を開催していきます。

② 小田地区の現況について



築50年以上経過している建物

●建物の現況について

小田地区内の不燃化重点対策地区には5,000棟を超える建物があり、その中の半数近い約2,000棟が老朽建築物*に当てはまります。そのため、地震火災延焼の危険性が非常に高くなっている。

*昭和56年以前に建てられた建築物



幅員が2m程度の道路

●道路の現況について

地区内には写真のような、緊急車両等が入れない幅員が4m以下の非常に狭い路地があり、災害が発生した際は、消火活動等が遅れてしまう恐れがある。

③ 意見交換（小田地区の現状で感じること等）

小田地区についての話し合いで出た主な意見

A～Dの4つのグループに分かれて意見交換、その後グループごとに発表



Aグループ

- ・空家、空地になっても、すぐに建て替わり（3階建て）密集化してしまう。空地を残したいのでルール策定はできないのか。
- ・狭い通学路など、道路拡幅ができるとよい。



Bグループ

- ・空家を市で調べているようだが、町会でも把握をしていきたい。
- ・浅田1, 2丁目については、公園がない。
- ・自分の町会以外のエリアの（密集の）実態について分からない人が多い。



Cグループ

- ・地区全体として道が狭く一方通行も多い。袋小路の道も数多くある。火災の対策を考えるべき。
- ・小田踏切が危険である。混雑もしている。
- ・大雨の問題もある。数年前に膝下まで水があふれてしまったこともある。



Dグループ

- ・地区全体に一方通行が非常に多い。狭い道なのに相互通行があったりする。
- ・救急車が途中までしか入れない道路がある。
- ・体操教室などをやれる場所があるとよい。

アンケート結果について

【懇談会について】

- ・町内会単位で協議する方がもっと情報がつかめると思う。

【今後行いたいこと】

- ・空家の情報を市と共有し、防災空地を造り一時避難場所にしたい。
- ・近所に避難場所がないので不安になった。避難しやすくなるように道路拡幅を行って欲しい。

【感想等】

- ・他町会の問題点を聞くことが出来たのでよかった。
- ・共通した問題を話しあえたことが、今後の取組を進める上でよかった。